

# 林業ニ二情報 No.133

平成28年1月

- 1 多賀林業振興会と常陸太田林業振興会が間伐技術講習会を開催 … 1  
(常陸太田林業指導所 塚原)
  - 2 県央地区林友会が視察研修を実施 …… 2  
(笠間林業指導所 宇津木)
  - 3 潮来市大生原小学校で間伐・枝打ち体験を実施 …… 2  
(鉾田林業指導所 仲野)
  - 4 森林作業道作設に関する現地検討会が開催される …… 3  
(土浦林業指導所 加藤)
- 〔林産情報〕 素材・製材品価格及び新設住宅建設の動向 …… 5  
(林業技術センター 益子)

## 1. 多賀林業振興会と常陸太田林業振興会が間伐技術講習会を開催

去る12月9日(水)、多賀林業振興会と常陸太田林業振興会が合同で間伐技術講習会を開催しました。この講習会は、林業技術向上のために両林業振興会が会員を対象に毎年行っている事業であり、管内4市の森林所有者等約60名参加しました。

今回の講習会は、高萩市大能地内にある高萩市林友会の列状間伐モデル林で列状間伐をテーマに行われました。列状間伐は、列状に伐採するためかかり木になりにくく、伐採列を利用して搬出を行うことができるため、低コスト化が望める間伐方法で、今回のモデル林は平成19年度に2残1伐、3残1伐、4残1伐の列状間伐と定性間伐が行われています。

講習会は、多賀林業振興会の大部会長、常陸太田林業振興会の江幡会長、県北農林事務所林務部門の加藤部門長のあいさつの後、現場に移動してモデル林を確認しながら、大部会長が平成19年度から平成27年度までの経過調査を基に間伐の違いによる材積や収量比数等の違いについて説明を行いました。

その後、林内に移動して作業道から列状間伐の施業地を確認し、列状間伐の二回目以降の施業方法について意見を交わしました。また、3残1伐の列状間伐のデモンストレーションが行われ、作業の素早さや的確さに驚いていました。

定性間伐の施業地では、鋸屋式間伐の方法で選木し、伐倒方法と掛かり木処理のデモンストレーションが行われました。フェリングレバーやかぎ棒を使って木を倒すときに、参加者たちから「もう少しだ。」と声が上がっていました。

最後に、林業普及指導員から労働災害防止規定の変更点について説明を行い、参加者はチェーンソーを用いた伐倒作業での立入禁止区域が拡大されたこと、チェーンソー防護衣の着用が義務化されたことなどに関心を持って聞いていました。

今回の講習会で、列状間伐は低コスト化が望める施業であると認識してもらえたと思っております。当林業指導所では今後も森林所有者に積極的に情報等を提供していきたいと考えています。



講習会の様子



列状間の説明の様子

(常陸太田林業指導所 塚原 洋明)

## 2. 県央地区林友会が視察研修を実施

去る12月4日(金)、県央地区林友会(会長 石川多聞氏)では常陸太田市の宮の郷工業団地において宮の郷木質バイオマス発電所と宮の郷木質チップ製造工場、林業技術センターにおいて木質バイオマスの利用と森林湖沼環境税、マルチキャビティコンテナ苗についての視察研修を実施し、会員23名が参加しました。

研修では、最初に宮の郷バイオマス発電所及び宮の郷木質チップ製造工場を視察し、発電所担当者から概要と取組みについて説明を受けた後、施設の見学を行いました。この日は発電が停止していたため、稼働していませんでしたが、木材のストックヤードやチップの搬送システム、ボイラー、発電棟等を見学しました。参加者はストックヤードや発電施設の規模の大きさに驚いた様子で、発電システムや、燃料となる木材供給の状況、灰や粉じんに関する環境への配慮等について、質問していました。



バイオマス発電所視察の様子

その後、林業技術センターにおいて木質バイオマスの利用及び森林湖沼環境税についての研修とマルチキャビティコンテナ苗視察を行いました。センター内の苗畑でコンテナ苗について説明を受けながら実際の栽培状況を見学し、苗木の生育状況や特徴について説明を受けると苗木や植栽のコスト、品質についてなど多くの質問が出されていました。



コンテナ苗視察の様子

最後の意見交換会では、森林湖沼環境税事業に関する課題や、住宅やペレットストーブ等の木材の利活用、森林の利用方法、林業の人材不足、特用林産物についてなど、幅広い意見や質問が出され、活発な意見交換が行われました。

今回の研修は最近のトピックである木質バイオマスの利用を中心に実施されましたが、当林業指導所では今後も普及会員の方々の関心に高い事項について、技術支援や情報提供を行い林業の活性化につなげていきたいと思っております。

(笠間林業指導所 宇都木 景子)

## 3. 潮来市大生原小学校で間伐・枝打ち体験を実施

去る12月9日、潮来市立大生原小学校の4～6年生27名を対象に学校近くの私有林において、当林業指導所の林業普及指導員の指導による森林・林業教室(間伐、枝打ち

体験)を実施しました。

森林・林業教室は、児童に森林・林業に対する理解と関心を深めてもらうことを目的に実施したもので、当日は、森林と林業に関する講義を行ったあと枝打ちや間伐の体験を行いました。

まずはじめに、林業普及指導員が森林の役割や重要性、さらには間伐の必要性や方法について説明を行ったあと、3つの班に分かれ作業を行いました。

子ども達には、鋸で受け口と追い口をつくらせましたが、鋸を初めて使う子も多く、中々思うように作業が進まない様子でした。それでも、伐る者を頻繁に交代しながら、時間をかけ各班とも最後には木を倒すことができました。

間伐の後の枝打ち体験では、枝打ちの必要性や方法を林業普及指導員が説明し、枝打ち用の梯子と鋸を使い実演を行った後、子ども達は高枝用の鋸を使って枝打ち体験を行いました。

枝打ちも、本来であれば子ども達全員に体験させたかったのですが、間伐が予定より時間がかかってしまったため、じゃんけんで勝った3名にのみ体験させることになってしまいました。

なお、今回は、森林・林業教室を行った場所を含む森林一帯を整備している市内の森林ボランティア団体「般若倶楽部」の方々にもスタッフとして協力いただきました。

当林業指導所では、次代を担う子ども達に、森林・林業に対する理解と関心を深めてもらうため、今後も、様々な体験活動を通じて指導を行っていく考えです。

(鉾田林業指導所 仲野 繁)



講義の様子



伐採の様子

#### 4. 森林作業道作設に関する現地検討会が開催される

去る11月5日(水)、一般社団法人フォレスト・サーベイ主催の森林作業道作設に関する現地検討会が常陸大宮市内で開催されました。

今回の現地検討会は、林野庁の委託事業「森林作業道作設オペレーターの育成強化事業」の一環として、現地での意見交換を行うとともに、学識経験者から森林作業道作設に関する技術や情報を提供することを目的として開催され、本県及び隣接県の林業事業者、国有林担当者、県担当者等約30名が参加しました。

現地は、美和木材協同組合が平成25年度に3.42haの間伐を行うために338メートルの作業道を開設した施行地で、同組合担当者から作業道作設に当たっての線形や排水

処理の考え方，地権者要望への対応，作設後の維持管理の状況等について説明がありました。

その後，現地を確認しながら，丸太組による盛土法面の補強，波型線形や丸太敷による排水処理，現地発生の転石を用いた洗越し等，現地での工夫の効果や作設時の注意点等について，参加者の実体験や施行事例も交えた活発な意見交換が行われました。

会場を近隣の美和工芸ふれあいセンターに移して，(株)森林テクニクスの鎌滝氏から「壊れにくい道づくり」についての講義がありました。

講義では，森林作業道は土構造が基本であり，土質の違いを理解し，作設に当たっては，現地の土質により切土勾配，盛土の締固め，排水処理や植生回復等への様々な配慮や工夫が必要になるとの説明がありました。

今回の検討会では，森林作業道の技術向上に取り組む関係者の意識の高さを感じるとともに，現地に応じた様々な工夫を積み重ねる必要がある事を改めて理解することができました。

当林業指導所としても，管内の林業地帯における路網整備の促進を図るため，引き続き，森林作業道作設に関する技術や情報の収集とともに，林業事業体への指導，普及啓発に取り組んでまいります。



現地研修の様子



講義の様子

(土浦林業指導所 加藤 智一)

[林産情報]

茨城県の素材・製材品価格(平成27年)

単位：円/m3

区分	樹種	規格	種類	H26年 平均	H27年 時点平均	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
国産材	スギ	3.00 × 14~20	柱材	13,900	11,200	13,400	12,700	11,800	10,000	8,200	7,900	7,800	9,300	12,300	13,400	13,400	13,800	
		3.65 × 18~28	中目材	14,200	10,700	12,900	12,700	11,800	9,200	8,900	7,900	9,100	8,900	11,800	12,500	11,900	10,800	
		4.00 × 8~13	小径材	14,900	12,000	14,600	14,800	14,400	13,200	10,500	9,800	9,200	9,400	10,000	11,700	12,700	13,800	
	ヒノキ	3.00 × 14~20	柱材	17,700	14,300	15,900	15,900	14,800	12,900	12,000	12,100	12,800	13,600	15,100	16,100	14,900	15,200	
		4.00 × 18~28	中目材	21,400	16,000	18,600	18,200	16,100	14,600	13,400	13,000	14,900	15,100	16,700	18,100	16,400	16,500	
		4.00 × 8~13	小径材	16,400	13,100	14,800	14,400	14,600	11,700	10,900	10,400	11,800	12,000	12,000	11,500	10,800	9,900	
	米ツガ	11.00 × 径・36	コースト	28,000	28,000	28,000	28,000	28,000	28,000	28,000	28,000	28,000	28,000	28,000	28,000	28,000	28,000	28,000
		11.00 × 径・28以下	j・ソート	25,000	25,000	25,000	25,000	25,000	25,000	25,000	25,000	25,000	25,000	25,000	25,000	25,000	25,000	25,000
	米マツ	11.00 × 径・40	カスケード	38,000	38,000	38,000	38,000	38,000	38,000	38,000	38,000	38,000	38,000	38,000	38,000	38,000	38,000	38,000
		11.00 × 径・36	コースト	32,000	32,000	32,000	32,000	32,000	32,000	32,000	32,000	32,000	32,000	32,000	32,000	32,000	32,000	32,000
カラマツ	4.0	込	22,000	23,000	22,000	22,000	22,000	22,000	22,000	22,000	22,000	22,000	22,000	22,000	22,000	22,000	22,000	
	3.8	並材	24,000	24,000	24,000	24,000	24,000	24,000	24,000	24,000	24,000	24,000	24,000	24,000	24,000	24,000	24,000	
国産材	スギ	3.00 × 10.5 × 10.5	柱①	55,500	55,000	55,000	55,000	55,000	55,000	55,000	55,000	55,000	55,000	55,000	55,000	55,000	55,000	55,000
		4.00 × 10.5 × 10.5	柱③	50,800	50,000	50,000	50,000	50,000	50,000	50,000	50,000	50,000	50,000	50,000	50,000	50,000	50,000	50,000
		3.65 × 1.4 × 10.0	ヌキ	55,900	56,000	56,000	56,000	56,000	56,000	56,000	56,000	56,000	56,000	56,000	56,000	56,000	56,000	56,000
		3.65 × 3.6 × 4.5	タルキ	52,900	53,000	53,000	53,000	53,000	53,000	53,000	53,000	53,000	53,000	53,000	53,000	53,000	53,000	53,000
		3.65 × 4.5 × 10.5	敷居・鴨居	150,000	150,000	150,000	150,000	150,000	150,000	150,000	150,000	150,000	150,000	150,000	150,000	150,000	150,000	150,000
		4.00 × 9.0 × 9.0	母屋	42,200	42,000	42,000	42,000	42,000	42,000	42,000	42,000	42,000	42,000	42,000	42,000	42,000	42,000	42,000
	ヒノキ	3.00 × 12.0 × 12.0	柱①	111,700	110,000	110,000	110,000	110,000	110,000	110,000	110,000	110,000	110,000	110,000	110,000	110,000	110,000	110,000
		4.00 × 12.0 × 12.0	土台	110,800	110,000	110,000	110,000	110,000	110,000	110,000	110,000	110,000	110,000	110,000	110,000	110,000	110,000	110,000
		4.00 × 4.5 × 10.5	敷居・鴨居	380,000	380,000	380,000	380,000	380,000	380,000	380,000	380,000	380,000	380,000	380,000	380,000	380,000	380,000	380,000
	マツ	4.00 × 12.0 × 24.0	平角	60,000	60,000	60,000	60,000	60,000	60,000	60,000	60,000	60,000	60,000	60,000	60,000	60,000	60,000	60,000
外材	米ツガ	3.00 × 10.5 × 10.5	柱	70,000	70,000	70,000	70,000	70,000	70,000	70,000	70,000	70,000	70,000	70,000	70,000	70,000	70,000	70,000
		4.00 × 9.0 × 9.0	母屋	70,000	70,000	70,000	70,000	70,000	70,000	70,000	70,000	70,000	70,000	70,000	70,000	70,000	70,000	
	米マツ	4.00 × 12.0 × 24.0	梁	58,000	58,000	58,000	58,000	58,000	58,000	58,000	58,000	58,000	58,000	58,000	58,000	58,000	58,000	
	米ツガ	4.00 × 12.0 × 12.0	注入土台	75,000	75,000	75,000	75,000	75,000	75,000	75,000	75,000	75,000	75,000	75,000	75,000	75,000	75,000	
	エゾマツ	3.80 × 3.0 × 4.0	タルキ	70,000	70,000	70,000	70,000	70,000	70,000	70,000	70,000	70,000	70,000	70,000	70,000	70,000	70,000	
WW集成材	3.00 × 10.5 × 10.5	柱	72,000	72,000	72,000	72,000	72,000	72,000	72,000	72,000	72,000	72,000	72,000	72,000	72,000	72,000	72,000	

注)ヒノキ柱①は、平成11年以前10.5cm角  
 WW(和ワッド)集成材は、1本あたりの単価をm3に換算  
 カスケード：大陸中央部カスケード山脈から産出される目詰みの材  
 コースト：太平洋沿岸部コースト山脈から産出される目詰りの材  
 j・ソート：北米における末口径11インチ下の細丸太、または日本向け丸太

茨城県の新設住宅建設の動向

単位：戸

区分/月別	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計	
26	着工数	1,931	1,969	1,805	1,872	1,607	1,565	1,978	1,716	1,858	2,191	1,762	2,117	22,371
	木造数	1,523	1,407	1,308	1,145	1,220	1,256	1,282	1,218	1,307	1,362	1,297	1,306	15,631
	木造率	78.9%	71.5%	72.5%	61.2%	75.9%	80.3%	64.8%	71.0%	70.3%	62.2%	73.6%	61.7%	69.9%
	累計	1,931	3,900	5,705	7,577	9,184	10,749	12,727	14,443	16,301	18,492	20,254	22,371	
27	着工数	1,623	1,795	1,862	1,772	1,782	2,134	1,957	1,886	1,911	2,224	1,661		20,607
	木造数	1,127	1,151	1,098	1,316	1,298	1,456	1,399	1,421	1,391	1,445	1,149		14,251
	木造率	69.4%	64.1%	59.0%	74.3%	72.8%	68.2%	71.5%	75.3%	72.8%	65.0%	69.2%	#DIV/0!	69.2%
	累計	1,623	3,418	5,280	7,052	8,834	10,968	12,925	14,811	16,722	18,946	20,607	20,607	

